

'04.5.25(火)

3年生スポンセル

山下 「幼児期・児童期の習い事が社会的スキルに与える影響」 金沢 亜希子

5才児が英単語、掛け算、割り算 → 塾通いで友達と遊ぶ時間あるの？

人と触れ合う為に習い事 (最近の傾向)

遊ぶ時間の減少が社会的スキル形成に悪影響を及ぼすか？

宮大生69人を対象に習い事に関するアンケート

→ 習い事をしていた方が初対面の人とも仲良くなれる。

集団活動型の習い事をしていた方が、友人と深い関係に発展。

個人レッスン型の習い事は孤立しがちになる。

習い事の数や種類は
社会的スキルに影響大。

<結論> 習い事の場は社会的スキルにとって日頃体験できない事を体験できる
代替的の場になるべき。

○ 習い事の場が「友達づくりの場」になるのはおかしい

Q. 社会的スキルは何才までに形成されるのか？ 小2まで集団活動型の習い事をしていた子が、その後個人レッスン
にはどうなる？

A. 何才までとは言えないと思う (天野) 幼児期・児童期のみに注目するのはおかしい。

Q. A群と比較した結果は？

A. 2番の結果に加える → A. B群とC群を比較。

Q. D群と比較した結果は？

A. 表にはまとめてあるが文章ではまとめられなかった。

Q. Kiss-18とは？

A. 心理測定尺度集Ⅱに載っている。

中島 「子どものめそびにおける対人関係調整のための音楽的表現の役割について」 坂本 文恵

集団めそびに音楽的表現 (わらわたちやスキップ等) が使われている。

子どもの生活・めそびの中に含まれている音楽的行動は大人の生活の中でも使用。

幼稚園で15日間の観察。

音楽的表現・音楽的な言葉かけは周りに存在を示すために使用 → 現代の傾向。

誰かに声をかけることが難しい。

<結論> 音楽的表現の存在を子どもが知らない → 大人が伝えるべき。

〃 を使うことが耳にずかしい、魅力が分からない。

遊び集団が形成しにくい

日常生活と非日常生活の境界がめまい。 → よく分からない ???

○ 観察日数の差がめりすぎる。

○ 「集団めそび」と限定していいのか？

○ わらバウなど大人が継承するのはどうか？ 大人が口出しするのは…？

Q. 音楽的表現の定義が最後には変わっているのでは？

A. 著者は「集団めそび」の中で音楽的表現が減っていると言いたい

中佐 「ポピュラー音楽の教材としての価値に関する研究」 田中美紀子

ポピュラー音楽を
取り入れた授業

→ 子どもの興味・関心を高めるため。

→ 意義を考えようとしている。

→ ポピュラー音楽の音楽内容に「関わらない部分」のみに着目しているものが多い。

授業以外（朝の会、帰りの会）では取り入れても、音楽の時間には他に触れさせてい
音楽がめり。

↓
態度面より音楽的内容の重視

子どもも「態度面」（＝楽しかった、やる気が出た）の向上い成果がなかったと考えている。

○ ポピュラー音楽が洗脳しようとしている、心理的に追い詰めるというのは言い過ぎ！

Q. 「前向きに生きよう」とか「夢を持って」という歌ばかり選択するのはどう思う？

A. 暴力的な表現は避けた方がいい。

を含む歌
歌詞はめり考えなくてもいいのでは…？